

学外研修報告

第 30 回生物学技術研究会 参加報告

共通機器部門 共通利用機器管理班 森原なぎさ

1. はじめに（目的等）

次世代シーケンサーとマイクロアレイの依頼測定業務にかかわる内容でポスター発表を行い、両機器について情報収集するため参加した。

2. 期間・場所

期間：平成 31 年 2 月 14 日～2 月 15 日

場所：岡崎コンファレンスセンター

3. 参加者等

生理学・生物学に関わる技術職員 139 名

4. 研修内容

1 日目 研修講演「電子顕微鏡による研究・実験技術・研究環境」・ポスター発表

2 日目 奨励研究採択課題技術シンポジウム・一般口演・話題提供・見学

5. まとめと感想

「マイクロアレイと次世代シーケンサーRNAseqのクオリティ検証と比較」というタイトルでポスター発表を行った。他の参加者の方より質問・意見をいただき、中でも次世代シーケンサーの方が少数サンプル時コストが高いという考察をしていたが、同じく次世代シーケンサーの依頼測定を行っている技術職員の方から、ライブラリ作成試薬を1/5スケールで使用する・シーケンスリードを抑えることでコストを下げるという方法を教わり大変参考になった。また実験手法についても96穴プレートを逆さにして遠心することでサンプル回収の手間を省く・穴あきプレートを使用して遠心することで試薬またはサンプルを下のプレートに一気に落としミスを防ぐなど、取り入れてみたいと思う話を聞くことができた。

他の発表についても、マイクロアレイに関するものはなかったが次世代シーケンサーについてはいくつかあり、知らなかった技法や独自の方法を知ることができ参考になった。今回得た知識をぜひ今後の依頼測定業務に活かしていこうと思う。